

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
数学	数学B・数学C	2・1	2	選	特進コース/難関突破
科目の目標	ベクトル，数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。				
教科書	数学B（数研出版） 数学C（数研出版）	副教材等	チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B 教科書傍用 4STEP 数学Ⅱ+B（数研出版） 教科書傍用 4STEP 数学C（数研出版）		

1. 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> 各単元における知識および技能を身につけること。 各単元に関連づけた思考力，判断力，表現力等を身につけること。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
数学C 第1章 平面上のベクトル						
第1節 平面上のベクトルとその演算	11	4・5	平面上のベクトルについて，その意味，相等，加法，減法および実数倍について理解する。ベクトルの意味については，風の吹き方など理解しやすい事象に即して導入し，ベクトルの考えが具体的な場面に活用できるようにする。また，ベクトルの内積の意味や基本的な性質を理解し，平面図形の性質の考察に応用する。	○	○	○
第2節 ベクトルと平面図形	9	5	位置ベクトルの考えを理解し，図形の性質の考察において形式的な処理ができることを認識する。また，ベクトル方程式を取り扱い，平面図形の性質や関係をベクトルを用いて表現できるようにする。	○	○	○
数学C 第2章 空間のベクトル	14	6・7	空間座標の概念を導入し，その意味や表し方について理解するとともに，内積や成分などの平面上のベクトルの考えを空間に拡張して，空間図形の考察に活用できるようにする。	○	○	○
数学B 第1章 数列						
第1節 数列とその和	16	8・9	簡単な数列とその和について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
第2節 数学的帰納法	12	9・10	数列を漸化式で表し，漸化式の意味を理解する。さらに，1次の形の隣接二項間の漸化式のような簡単な漸化式で表された数列について，その一般項が求められるようにする。	○	○	○
数学B 第2章 統計的な推測						

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
第1節 確率分布	16	12・1	確率変数及び確率分布について理解し、確率変数の平均、分散及び標準偏差を用いて確率分布の特徴をとらえられるようにする。また二項分布について理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
第2節 統計的な推測	12	2・3	標本調査の考え方について理解し、標本を用いて母集団の傾向を推測できることを知る。また母平均の統計的な推測について理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○